

銀山社会の解明

- 近世石見銀山の経営と社会 -

仲野義文 著

石見銀山とは、どのような社会であったか
鉱山経営や労務の実態と、鉱山町で暮らす人々に焦点をあてる



世界遺産に歴史研究の光をあてる好著

島根大学名誉教授 相良英輔

石見銀山は世界遺産に登録され、世間に注目されるようになった。しかし、これまで歴史的には戦国時代の毛利氏や尼子氏などの石見銀山争奪戦がよく書かれてはきたが、石見銀山地域の歴史や石見銀山の経営の実態についてそれほどわかっていただけではない。石見銀山の実態を詳細に明らかにしていくには、まず史料の豊富な近世期の研究が重要である。その研究の中心的な牽引者となってきたのが仲野義文氏である。石見銀山について地道にこつこつ研究してきた彼の研究成果が発刊されることを心から喜ぶたい。

石見銀山の歴史はまだまだ不明な点が多い。特に戦国時代から近世初期についての具体的な歴史実像が浮かび上がっていない。仲野氏の研究成果を基点にして今後ますます研究が進んでいくことを願ってやまない。 (推薦文より抜粋)

本書の構成

- | | |
|--------------|--------------------|
| 第一章 問歩とは何か | 第五章 自分山の破綻と鉱山経営の変容 |
| 第二章 鉱山の開発と経営 | 第六章 鉱山を支えた資材調達システム |
| 第三章 御直山と資本 | 第七章 鉱山町の社会構造 |
| 第四章 吹屋の経営と生産 | 補論 石見銀山附地役人と身分 |
| | 参考文献一覧/索引 |

◎著者紹介

仲野 義文 (なかの・よしふみ)
1965年広島市生まれ。別府大学文学部卒。
現在、石見銀山資料館 館長。

清文堂出版

大阪市中央区島之内2-8-5

電話▷ 06 (6211) 6265

FAX▷ 06 (6211) 6429

メール▷ order@seibundo-pb.co.jp

A5判・並製本・230頁・予価1,900円

1月下旬刊行・予約受付中

注文書 「銀山社会の解明—近世石見銀山の経営と社会—」を申込みます。

お名前

お電話番号

ご送付先住所

貴店名

ご注文はお近くの書店へお申し込みください。お急ぎの節は清文堂出版営業部へ直接ご注文ください。